



ピボット整備キット

Sand Pro® トラクションユニット・モデル 08751 ツースレーキ用

モデル番号 121-9064

取り付け要領

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	–	既存のブラケットを取り外します。
スラストワッシャ クレビスピン ピボットチューブ ヒッチアセンブリ ジャムナット (1/2 インチ) キャリッジボルト (1/2 インチ) コッターピン	2 1 1 1 2 2 1	ピボットブラケットを組み立てます。
ねじ (1/2 インチ) フランジナット (1/2 インチ) ロックナット (1/2 インチ) ねじ (3/8 インチ) フランジナット (3/8 in)	1 1 1 1 1	ピボットブラケットを機体に取り付けます。
レーキ・ストッププレート ねじ (1/2 インチ) クレビスピン コッターピン 平ワッシャ ピボットブラケット アセンブリ ロックナット (1/2 インチ)	2 1 1 1 2 1 1	ピボットブラケットをアタッチメントに取り付けます。
必要なパーツはありません。	–	タインの食い込み深さを調整します。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

既存のブラケットを取り外す

- 既存のブラケットおよびラッチ機構の下側の端部を固定しているコッターピンとクレビスピンを外して廃棄する (図 1)。

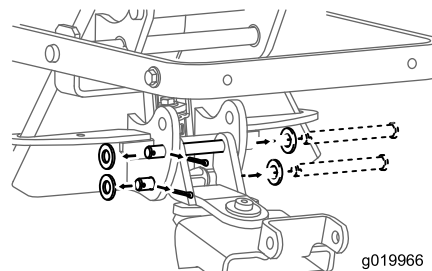


図 1

- ブラケットをアタッチメントに固定しているボルト・ナット類を外して廃棄する (図 2)。取り外したブラケットは廃棄する。



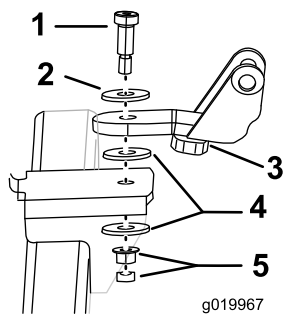


図 2

- | | |
|-------------|---------|
| 1. 固定ボルト | 4. ワッシャ |
| 2. ワッシャ | 5. ナット |
| 3. 既存のブラケット | |

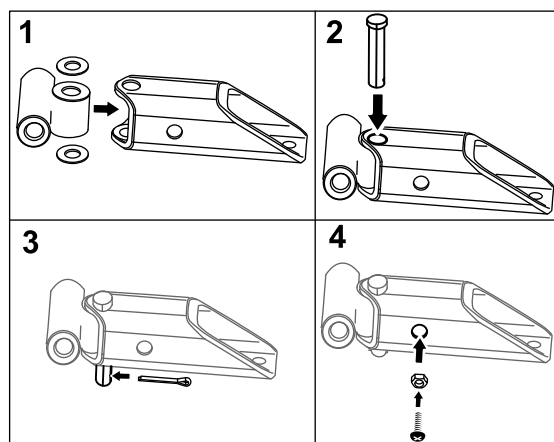


図 4

ピボットブラケットを組み立てる

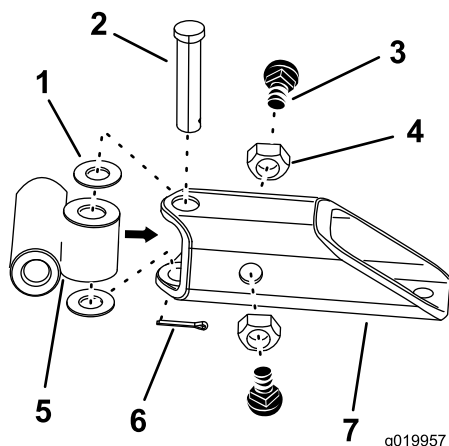


図 3

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. スラストワッシャ | 5. ヒッチアセンブリ |
| 2. クレビスピン | 6. コッターピン |
| 3. キャリッジボルト(1/2 インチ) | 7. ピボットチューブ |
| 4. ジャムナット(1/2 インチ) | |

1. ヒッチアセンブリの開口部のそれぞれにスラストワッシャ2枚を取り付け、アセンブリをピボットチューブ内部にセットする (図 4 ; 図内図)

2. ピボットチューブの上から、最初のワッシャ、ヒッチアセンブリ、二番目のワッシャを貫通してピボットチューブの底を貫通するようにクレビスピンを差し込む (図 4 ; 図内図 2)。
3. コッターピンで固定する (図 4 ; 図内図 3)。
4. 各キャリッジボルト (1/2インチ) をそれぞれのジャムナット (1/2インチ) に通す (図 4 ; 図内図 4)。
5. 各キャリッジボルトを、ピボットチューブの側面にねじ込む (図 4 ; 図内図 4)。

ピボットブラケットを機体に取り付ける

1. ピボットブラケットをねじ (1/2インチ) でフレームに取り付け、フランジナット (1/2インチ) で固定する (図 5)。

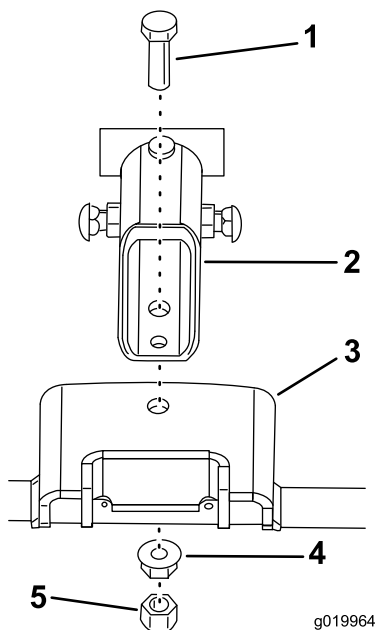


図 5

1. ねじ(1/2 インチ)
2. ピボットブラケット・アセンブリ
3. 機体
4. フランジナット(1/2 インチ)
5. ロックナット(1/2 インチ)

2. フランジナットを 112-117 Nm (16.7 ft-lb = 11.5-12.0 kg.m) にトルク締めする。
3. ロックナット (1/2インチ) で固定し、 98-104 Nm (73-77 ft-lb = 10.1-10.7 kg.m) にトルク締めする。
4. ピボットブラケットについている二つめの穴から、マシンのプレートまでドリルで穴を開ける (図 6)。

重要 ピボットブラケット・アセンブリが、マシンのヒッチに対して90度になっていることを確認すること。ブラケットがヒッチから90度にセットされていないと、レーキを真っ直ぐに引っ張れずに角度がついてしまう。

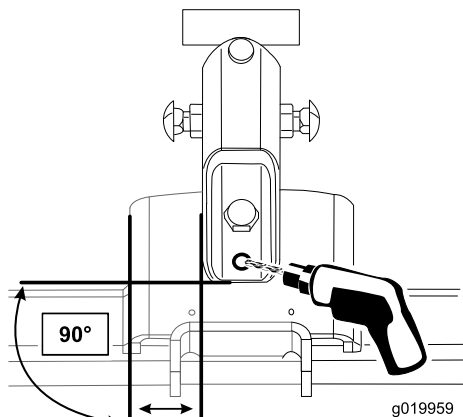


図 6

5. 新しく開けた穴にねじ (3/8インチ) を通し、ブラケットアセンブリを取り付けて、フランジナット (3/8インチ) で固定する (図 7)。

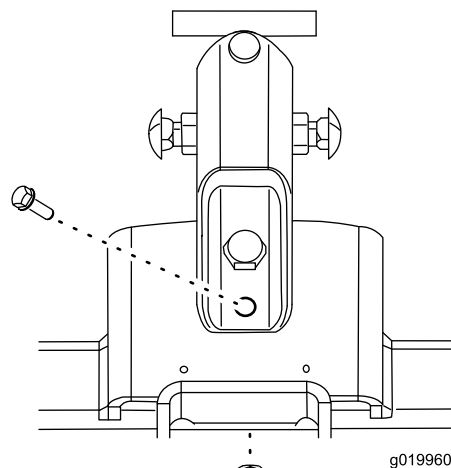


図 7

6. ナットを 21-27 Nm (16-20 ft-lb = 2.2-2.8 kg.m) にトルク締めする。

ピボットブラケットをアタッチメントに取り付ける

1. レーキ・ストッププレートのうちの1枚の、一番低い位置にある穴にクレビスピンとワッシャをセットし、右側のストッププレートと、ラッチ機構に通す (図 8)。

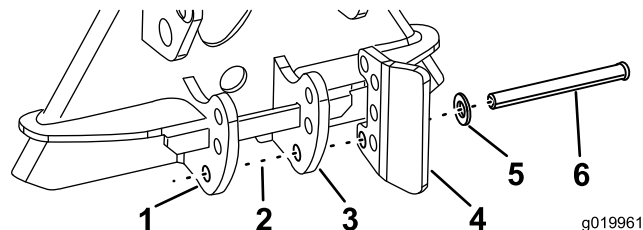


図 8

1. 左側ストッププレート
2. ラッチ機構
3. 右側ストッププレート
4. レーキ・ストッププレート
5. ワッシャ
6. クレビスピン

2. ピンを、左側ストッププレート、および残りのレーキ・ストッププレートのうちの一番低い穴に通す (図 8 と 図 9)。
3. クレビスピンにワッシャを通し、このワッシャをコッターピンで固定し、コッターピンの端部を折り曲げて固定する (図 9)。

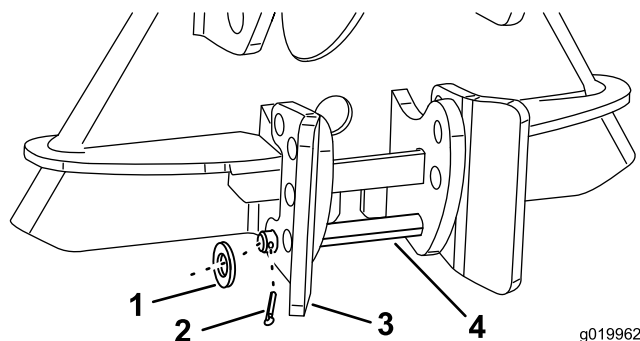


図 9

1. ワッシャ
2. コッターピン
3. 右側レーキ・ストッププレート
4. クレビスピン

4. タインの食い込み深さを決める穴に、ねじ (1/2インチ) を差し込む。「タインの食い込み深さを調整する」の項を参照のこと。

注 タインの食い込み深さの調整によっては、ピボットブラケット・アセンブリを取り外して調整を行う必要がある場合もあります。

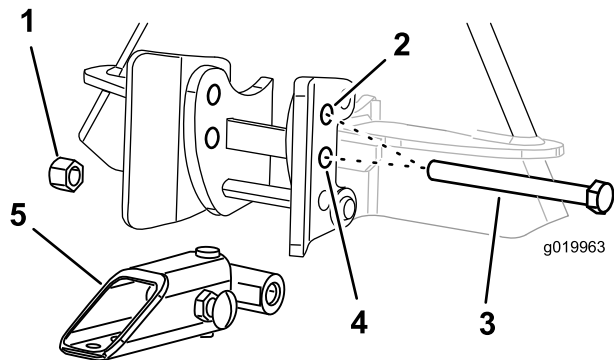


図 10

1. ロックナット (1/2 インチ)
2. ピボットブラケット・アセンブリ
3. 一番下の穴
4. 一番上の穴
5. ねじ (1/2 インチ)

5. 2枚のストッププレートの中にピボットブラケット・アセンブリをセットし、ねじ (1/2インチ) をヒッチアセンブリに通す。
6. ピンを、ストッププレートおよびレーキ・ストッププレートの同じ穴に通してロックナット (1/2インチ) で固定する。

タインの食い込み深さの調整

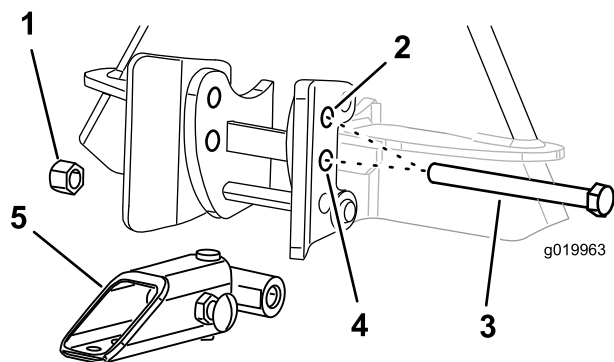


図 11

1. ロックナット (1/2 インチ)
2. 一番上の穴
3. ねじ (1/2 インチ)
4. 一番下の穴
5. ピボットブラケット・アセンブリ (平たい側を下にした状態)

タインの食い込みレベル	ねじ (1/2インチ) を取り付ける位置	ピボットアセンブリの取り付けかた
一番浅い	一番上の穴	平たい側を上 (注を参照)
浅い	一番下の穴	平たい側を上 (注を参照)
やや深い	一番上の穴	平たい側を下
一番深い	一番下の穴	平たい側を下

注 タインの食い込み深さをこのレベルに調整する場合には、ピボットブラケット・アセンブリを取り外す必要があります。